

《会議・委員会等報告書》

報告者：佐々木 順 造

報告区分：部内

会議等名称：平成23年度第11回大学院医歯薬学総合研究科疫学研究倫理審査委員会

開催日時：持ち回りにより開催

開催場所：持ち回りにより開催

出席者：10名

議事内容：

- (1) 母乳中のmicroRNA 解析のための予備実験 (資料2)

標記(資料2)について、迅速審査の結果特に問題ないことが確認された。
迅速審査の結果を委員全員に連絡し、持ち回り委員会により審議を行った。

研究責任者：大学院保健学研究科 検査技術科学専攻
准教授 石川 哲也

持ち回り委員会により審議した結果、2月28日付けで承認することとなった。

- (2) 腸管利用膀胱全摘除術における手術部位感染症SSI (Surgical Site Infection; SSI) に関する後ろ向き調査 (資料3)

標記(資料3)について、迅速審査の結果特に問題ないことが確認された。
迅速審査の結果を委員全員に連絡し、持ち回り委員会により審議を行った。

研究責任者：大学院医歯薬学総合研究科 病態制御科学専攻病態機構学講座(泌尿器病態学分野)
准教授 渡辺 豊彦

持ち回り委員会により審議した結果、2月28日付けで承認することとなった。

- (3) 泌尿器科領域の抗癌化学療法における発熱性好中球減少症(febrile neutropenia: FN)に関する多施設後ろ向き調査 (資料4)

標記(資料4)について、迅速審査の結果特に問題ないことが確認された。
迅速審査の結果を委員全員に連絡し、持ち回り委員会により審議を行った。

研究責任者：大学院医歯薬学総合研究科 病態制御科学専攻病態機構学講座(泌尿器病態学分野)
准教授 渡辺 豊彦

持ち回り委員会により審議した結果、2月28日付けで承認することとなった。

- (4) コンポジットレジン修復の再製に及ぼす因子についての研究 (資料5)

標記(資料5)について、迅速審査の結果特に問題ないことが確認された。
迅速審査の結果を委員全員に連絡し、持ち回り委員会により審議を行った。

研究責任者：大学院医歯薬学総合研究科 社会環境生命科学専攻 長寿・社会医学講座(予防歯科学分野)
教授 森田 学

持ち回り委員会により審議した結果、2月28日付けで承認することとなった。

- (5) がん患者における埋め込み式中心静脈カテーテル留置による合併症の検討 (資料6)

標記(資料6)について、迅速審査の結果特に問題ないことが確認された。
迅速審査の結果を委員全員に連絡し、持ち回り委員会により審議を行った。

研究責任者：岡山大学病院 腫瘍センター
准教授 田端 雅弘

持ち回り委員会により審議した結果、2月28日付けで承認することとなった。

- (6) 同種臍帯血移植の有効性に関する第Ⅱ相試験の仮登録例における臍帯血移植非施行例の予後追跡調査(C-SHOT 0601 試験仮登録例の予後追跡研究) (資料7)

標記(資料7)について、迅速審査の結果特に問題ないことが確認された。
迅速審査の結果を委員全員に連絡し、持ち回り委員会により審議を行った。

研究責任者：岡山大学病院 輸血部
講師 藤井 伸治

持ち回り委員会により審議した結果、2月28日付けで承認することとなった。

- (7) 鼻咽腔閉鎖不全症用の構音改善装具NSV（鼻孔弁）の有効性に関する調査 (資料8)

標記（資料8）について、迅速審査の結果特に問題ないことが確認された。
迅速審査の結果を委員全員に連絡し、持ち回り委員会により審議を行った。

研究責任者：大学院医歯薬学総合研究科 機能再生・再建科学専攻 口腔・顎・顔面機能再生制御学講座(咬合・有床義歯補綴学分野)

教授 皆木省吾

持ち回り委員会により審議した結果、2月28日付けで承認することとなった。

- (8) 受付番号262 健康診断受診者における酸化ストレスとアレルギーに関する研究 (資料9)

標記（資料9）について、迅速審査の結果特に問題ないことが確認された。
迅速審査の結果を委員全員に連絡し、持ち回り委員会により審議を行った。

研究責任者：大学院医歯薬学総合研究科 社会環境生命科学専攻 長寿社会医学講座（公衆衛生学分野）

教授 荻野景規

持ち回り委員会により審議した結果、2月28日付けで承認することとなった。

- (9) 受付番号324 顎変形症治療による情動コミュニケーション障害の改善に関する研究 (資料10)

標記（資料10）について、迅速審査の結果特に問題ないことが確認された。
迅速審査の結果を委員全員に連絡し、持ち回り委員会により審議を行った。

研究責任者：岡山大学病院 口腔外科（病態系）

講師 西山明慶

持ち回り委員会により審議した結果、2月28日付けで承認することとなった。